

教員一覧

(2026年5月1日現在)

■所長

井上 章一 風俗史

■副所長

楠 綾子 日本政治外交史、安全保障論
フレデリック・クレインス 戦国文化史、日欧交渉史

■教授

磯田 道史 日本史学
伊東 貴之 中国思想史、東アジア比較文化交渉史
榎本 渉 中世国際交流史
タイモン・スクリーチ 江戸時代の歴史・美術史
関野 樹 情報学
戦 暁梅 近代日中美術交渉史
瀧井 一博 国制史、比較法史
松田 利彦 日朝・日韓関係史
安井 真奈美 文化人類学、日本民俗学
山田 奨治 情報学、文化交流史
劉 建輝 日中文化交渉史

■准教授

太田 奈名子 メディア史
片岡 真伊 日本近現代文学、比較文学
呉座 勇一 日本中世史
中丸 貴史 日本古典文学
西谷 功 仏教文化史、仏教美術史
エドワード・ボイル 境界研究、文化遺産論、島嶼研究

■助教

孫 詩彧 社会学(家族・移民)、ジェンダー・STS研究

■特任准教授

周 雨霏 経済思想史、社会思想史
馬場 幸栄*1 デジタルアーカイブ、書誌学、科学技術史

■特任助教

権 民赫 日本文学文化学、人文情報学
オリバー・ホワイト 日本近世戯作文学
ザヘラ・モハम्मプール 比較文学・比較文化
劉 洋*2 中近世東アジア海域史

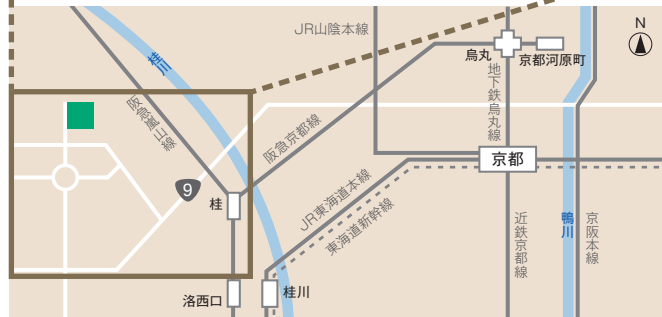
研究者情報



*1 人間文化研究機構 人間文化研究開発センター 特任准教授(併任 国際日本文化研究センター 特任准教授)
*2 人間文化研究機構 人間文化研究開発センター 特任助教(併任 国際日本文化研究センター 特任助教)



交通案内



阪急桂駅(西口)から

- 京都市バス「西5」「西6」で約30分
- 京阪京都交通バス「20」「20B」で約20分
- タクシーで約15分

J R桂川駅から

- ヤサカバス「1」「6」で約30分
- タクシーで約20分
- JR桂川駅までは、JR京都駅から大阪方面行き(普通)に乗車約5分

J R京都駅(烏丸中央口)から

- 京阪京都交通バス「21」「21A」「26」「26B」で約45分

バスはいずれも「花の舞公園前」又は「桂坂小学校前」下車で徒歩5分

〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3丁目2番地
TEL(075)335-2222(代)／FAX(075)335-2091
<https://www.nichibun.ac.jp>

日文研 検索

表紙デザイン:

日文研デジタルアーカイブ「風俗図会」コレクションより



国際日本文化研究センター
International Research Center for Japanese Studies
NICHIBUNKEN BROCHURE
大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
概要 2026

日文研は、日本文化の研究を支える国際拠点です。

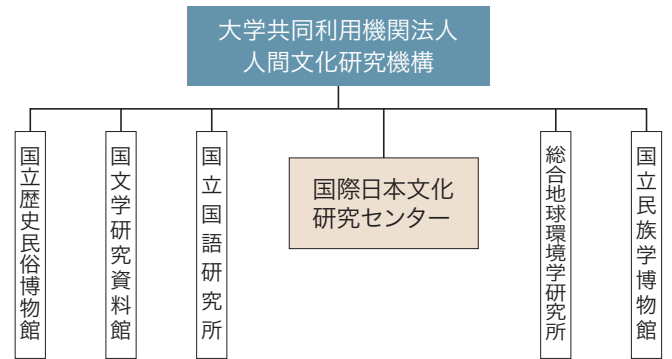
日文研とは

国際日本文化研究センター(日文研)は、日本文化に関する国際的・学際的な総合研究と世界の日本研究者に対する研究協力・支援を行うことを目的として、1987年に設置されました。

日文研は、日本の文化・歴史を国際的な連携・協力の下で研究するとともに、外国の日本研究者を支援するという大切な使命をもった大学共同利用機関です。この使命を推し進めるために、国内外から参加する多様な専門領域の共同研究員による、分野横断的な日本文化に関する研究を展開しています。

また、海外から人文・社会科学等の諸分野の研究者を招いて最新の成果や情報に基づく自由で創造的な研究活動を行うとともに、その情報を発信するなど、日文研は、日本文化の研究を支える国際拠点としての役割を担っています。

組織



日文研の役割

1. 日文研は、国際的・学際的・総合的な観点から、日本文化に関する研究課題を設け、国内外から参加する様々な分野の研究者による共同研究に取り組んでいます。
2. 共同研究を、「自然観と人間観」「文化と権力」「大衆文化研究の展開」という3ユニットに分類し、柔軟な組織・運営により推進しています。
3. 世界各地の日本文化の研究者・研究機関に、研究情報を発信するとともに、実情に応じた研究協力を行っています。
4. 研究成果は、多言語による図書・学術雑誌、講演会、シンポジウムなど様々な形で広く国際社会に提供しています。
5. 総合研究大学院大学先端学術院先端学術専攻国際日本研究コース博士後期課程では、次代の研究者養成に努めています。また、国内外の大学院生・留学生を受入れて指導しています。

所蔵資料



図書館

日本研究に必要な各種資料を幅広く収集し(図書資料約62万冊※)、国内外の研究者の利用に供するとともに、様々な情報を提供しています。利用者は図書を自由に手にとって閲覧することができます。外部の方でも、学術研究・調査等を目的とする場合であれば、事前申請のうえ閲覧が可能です。



文部省美術展覧会絵葉書「三人の舞妓」



Elogii di capitani illustri
(著名武将列伝)所収の秀吉肖像

データベース

所蔵する日本研究資料、所員の研究成果をはじめ、他機関所有の日本研究資料などのデータベースを作成しており、現在46種類※をウェブで公開しています。



日文研デジタルアーカイブ



活動

研究活動

共同研究

日本文化に関する国際的・学際的なテーマに基づく総合研究を、国内外の研究機関や研究者と協力しながら行っています。既存学問では周辺化されたテーマも取りあげ、また、グローバルな観点から他地域との交流や影響関係を理解することで、人文学のフロンティアを開拓する斬新かつ堅固な研究を目指しています。

「国際日本研究」コンソーシアムのグローバルな新展開―「国際日本研究」の先導と開拓―※1

「国際日本研究」や「国際日本学」を掲げる国内外の研究・教育機関の研究ネットワークを構築し、「国際日本研究」の深化と新たな展開を目指します。共同研究、国際ワークショップ等を通じて学問的基盤を構築しながら、若手研究者の育成にも努めています。

開かれた人間文化研究を目指した社会共創コミュニケーションの構築※2

研究成果を可視化し、学界と社会との共創により研究を高度化することを目指す事業です。研究機関等と連携しつつ、展示や漫画・アニメーション、データベース等の多用な手法を用いて研究成果を社会に共有・公開しています。

研究協力活動

国際研究協力

「海外シンポジウム」を含めた国内外での研究交流ネットワーク形成のほか、来日中の外国人研究者による発表・交流の場として「日文研フォーラム」等の各種レクチャー、セミナーを開催しています。

資料の収集・整理・提供

収集する主な資料には次のようなものがあります。
・外国語で書かれた日本研究図書
・日本研究関連の文献目録及び映像・音響資料
・海外における日本研究者・研究機関に関する情報
これらはデータベース化され、広く公開されています。

学術交流協定

国内外の大学・研究機関との組織的共同研究及び研究者交流を推進するため、学術交流協定を随時締結しています。

普及活動

研究成果の出版および情報発信

『日本研究』、Japan Review、「日文研叢書」、「共同研究報告書」、「日文研」などを「日文研オープンアクセス」で公開しています。

社会貢献

学術講演会、一般公開、日文研―京都アカデミックブリッジ、日文研×読売Bizフォーラム東京など一般の方を対象とした多様なイベントを開催しています。
また、教育委員会と連携協定を結び出前授業や探求学習への協力を行うなど、若年層への研究成果発信や次世代人材育成を通じて地方創生にも貢献します。

※1 人間文化研究機構が第4期中期目標期間(2022年度～2027年度)に掲げる基幹研究プロジェクトの事業。

※2 人間文化研究機構が第4期中期目標期間に掲げる共創促進事業の一環。

◆詳細は日文研ウェブサイトでも発信しています。

共同研究

2026年度 共同研究一覧 (2026年5月1日現在)

研究課題	研究代表者	
町とモニュメント ー視覚文化史から見た日本の都市計画と記念ー	教授 タイモン・スクリーチ	
「島国・日本」再考ー移り変わる姿、意識、心象ー	准教授 エドワード・ポイル	
「身心(身体知)」と「自然(環境系)」の相関 ー東アジアから考える／発信するオルタナティブー	教授 伊東 貴之	
植民地帝国日本における生・病・死	教授 松田 利彦	
動物愛護運動の研究 ー動物を助ける多様な方法ー	客員教授 バーバラ・ホルツ	准教授 中丸 貴史
「戦後」と「近代」を超えて ー1970年代日本の国家と社会ー	教授 楠 綾子	
文化コモンズの生成と変容	教授 山田 奨治	
「知」を編むということ ー集輯・編訳・表象にまつわる共創的探究ー	准教授 片岡 真伊	
国家形成のなかの知 ー比較国制史からの日本論ー	教授 瀧井 一博	
日本漢文学の基盤構築	准教授 中丸 貴史	
ナショナリズムの行方 ー右傾化、宗教化、ポピュリズムー	外国人研究員 ケネス・ジェームズ・ルオフ	
東アジア論の再生 ー戦後思想から地域実践へー	客員教授 片岡 耕平	准教授 呉座 勇一
支払行為から読みとく文化と権力の交錯 ー貨幣なき交換、制度なき秩序ー	客員教授 河野 憲嗣	教授 安井 真奈美
中国の統計・年鑑・地方誌等(日中文庫)を 活用した中国現代史研究の可能性	客員教授 川島 真	教授 劉 建輝
異文化媒介者たちの比較史	教授 榎本 渉	
近代日本における「文人文化」の変容	教授 戦 暁梅	
近代東アジア文化史の再構築Ⅱ ー20世紀の百年間を中心にー	教授 劉 建輝	
海を渡る声 ーラジオから聴こえる国際日本文化研究ー	准教授 太田 奈名子	
西国三十三所巡礼の歴史的変遷と現代的変容	外国人研究員 金 容儀	



歴史研究の成果をアニメ化(YouTubeで公開中)



最新の研究成果と普及活動

日文研の教職員等の研究成果は「日文研オープンアクセス」で蓄積・公開しています。➡



出版物

日本文化研究の発展と普及を目指し、最新の研究成果を学術書や論文集のほか、一般向けの図録や学習マンガなど様々な形で出版しています。



共同研究報告書



学術雑誌『日本研究』



学習マンガ

イベント

世界の日本研究者が集う海外シンポジウム等を開催し研究交流を促進するほか、一般の方に向けた多様なイベントを行い研究成果を広く社会に発信しています。

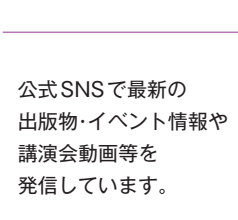


◀インドネシア大学で開催した海外シンポジウムの様子(2025年10月)

▼日文研一般公開のトークイベントの様子(2025年11月)



研究会・シンポジウム情報



一般向けイベント情報



公式SNSで最新の出版物・イベント情報や講演会動画等を発信しています。

